

| 項目 | 内容 |
|----------|---|
| 名称 | ダイズサポニン [英]Soy saponin [学名]- |
| 概要 | サポニンとは、植物界に広く分布するトリテルペンまたはステロイドの配糖体であり、ダイズその他、セネガ、キキョウ、ニンジン、オンジ、アマチャヅルの葉などにも多く含まれる。ここではダイズに含まれるダイズサポニンについて述べる。 |
| 法規・制度 | <p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポニン (大豆サポニン) : 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」に該当する。 <p>■ 食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存添加物 ダイズサポニン (サポニン) : 乳化剤 |
| 成分の特性・品質 | |
| 主な成分・性質 | <ul style="list-style-type: none"> ・ダイズに含まれるサポニンで、トリテルペンまたはステロイドの配糖体。水溶液を振とうすると持続性の泡沫を生じる。 ・ダイズサポニンは既存添加物 (乳化剤) として使用が認められているが、ダイズを原料としているため、高濃度のイソフラボンが含まれている (アグリコン換算として61.5~121.4 mg/g) 。 |
| 分析法 | <ul style="list-style-type: none"> ・品質の指標として、ダイズサポニンやソヤサポゲノールBをUV検出器付きHPLCにより分析している (101) 。使用カラムは, CA-312 (ODS、6 mmID×150 mm) で、測定波長は210 nmである。生ダイズ中のサポニン含量は、0.52~0.79% W/W程度である。 |

有効性

| | |
|--------------|--|
| 循環器・ 呼吸器 | RCT ・ダイズ製品の血漿コレステロール低下作用にはダイズサポニンの影響は認められなかったという無作為割付臨床試験 (RCT) がある (PMID:7011362)。 |
| 消化系・肝臓 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 糖尿病・ 内分泌 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 生殖・泌尿器 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 脳・神経・ 感覚器 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 免疫・がん・ 炎症 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 骨・筋肉 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 発育・成長 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 肥満 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| その他 | 調べた文献の中に見当たらない。 |
| 参考文献 | (30)「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (101)茨城県工業技術センター研究報告. 1991;20:84-6. (PMID:7011362) Br J Nutr. 1981;45:277-81. (102)«平成18年度食検費 既存添加物の成分規格の設定 大豆サポニンの成分分析 国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部» (PMID:7884560) J Nutr. 1995 Mar;125(3 Suppl):744S-750S. (PMID:19501625) Food Chem Toxicol. 2009 Aug;47(8):2150-6. |